

5部

オンデマンド・
スクーリングのご案内



在宅で受講可能な「オンデマンド・スクーリング」を下記の科目について、実施いたします。※同一期に複数科目の申込みができます。

[重要]

オンデマンド・スクーリングでは、受講申込みからスクーリング試験提出まで、すべてパソコン上で操作していただきます。

また、オンデマンド・スクーリングのスクーリング試験は、一部の科目を除き、ワードファイルに解答を作成していただき、そのワードファイルをメールに添付して提出していただきます。

本学において、メールの送信、ワードの使用方法などパソコンの一般的な操作方法に関するご質問は受付けておりませんのでご了承ください。

●今回申込みを募る科目＝オンデマンド・スクーリング 18～20期

※3月卒業希望者はオンデマンド17（With111号掲載）までのオンデマンド・スクーリングを受講するよう学習計画を立ててください。

期	(注1) ～20 21 ～23 24 ～	科目名	申込締切	受講開始	受講料 納入締切	スクーリング 試験締切 (正午) (注2)	\$単位	受講料
18	★	福祉法学	1/12	1/23	2/2	2/12	1	5,000円
	心理系	認知心理学					2	10,000円
	◆ ★	社会保障論				2/19	2	10,000円
	★	更生保護制度論					1	5,000円
	◆	福祉法学（旧カリ）				2/26	2	10,000円
19	心理系	社会心理学	1/19 (注3)	1/30	2/9	2/19	1	5,000円
	★	社会調査の基礎						
	◆	社会福祉援助技術論Ⅱ（旧カリ）				2/26	1	5,000円
	心理系	老年心理学					2	10,000円
	心理系	特講・福祉心理学4 (スクール・カウンセリング)					1	7,000円
20	◆ ★	保健医療サービス論	2/2	2/13	2/23		1	5,000円
	◆ ★	地域福祉論					2	10,000円
	心理系	心理アセスメント				3/11	1	5,000円

(注1) ◆＝平成14～20年度入学者 ★＝平成21～23年度入学者

■＝平成24年度以降入学者向け科目

(注2) スクーリング試験受理連絡は、スクーリング試験をご提出いただいたメールアドレスに返信いたします。

(注3) 特講科目ですが、スクーリング申込みが必要です。

※ 受講期間中はこまめにメールをチェックしてください（必要事項はすべてメールでご連絡します）。

※ 申込締切日以降に受付手続きを行います。受講申込者は下記のことを確認ください。

送付・連絡物	通知方法	留意点
受講料納入 依頼書	郵送	申込締切後1週間以内に届かない場合は、至急お申し出ください。
試験要領	「TFU オンデマンド」上から自身でダウンロード (受講開始日以降可能)	郵送はいたしません。受講科目のコンテンツ内より自身でダウンロードし、必ず内容（スクーリング試験課題や留意事項等）を確認してから受講してください。
講義資料	郵送 (資料のある科目のみ)	申込締切後1週間以内に届かない場合は、至急お申し出ください。
視聴開始連絡	「TFU オンデマンド」上の「お知らせ」および一括送信メール	受講開始日までに届くことをご確認ください（メールが届いていない方はご自身の受信設定をご確認ください）。

※ オンデマンド・スクーリング申込・受講・単位修得方法やTFU オンデマンド使用方法の詳細は『学習の手引き』10章、概要は2013～2015版 p. 11、2009-2011★版および2002-2008◆版 p. 9 に記載がございます。
必ずご理解いただいたうえで受講申込みを行ってください。

スクーリング・アンケートより(2)

アンケートよりスクーリング講義の感想を抜粋いたしました。

●高齢者福祉論（小森 弘道先生）

- ・介護の現場で常に「変革者」として運動されている人が存在することに興味を抱きました。自分もそういう人になりたいと思います。先生の「高齢者は、私です」という姿勢にも共感しました。私も同じ気持ちで働いています。
- ・福祉には金がない、ということを講義中繰り返し聞き、これからいかに大変になっていくか、実感を伴って知ることができました。とても楽しい授業で、重みと価値と、笑いがある時間でした。もっと先生のスクーリングを受けてみたいです。
- ・独立社会福祉士の方の仕事の実態のお話を伺えて嬉しかったです。困難なことも多いようですが、色々なことに挑戦できる環境になれるという期待がありました。ありがとうございました。
- ・初めてスクーリングを受けたが、先生の体験談などが時折あり、途中飽きることがなく講義を受講することができた。

●社会福祉援助技術演習B・II（川口 正義先生・関川 伸哉先生・佐藤 博彦先生）

- ・グループワークで色々な意見を出し合えてとても参考になりました。先生の面白い講義は印象的で、かつ重要なところを抑えて講義していただきましたので、とても充実した2日間でした。今まで受講した中で一番理解ができ、楽しく受講できありがとうございました。また是非受講したいと思います。
- ・自分の知識不足を再認識できました。わからないことをわからないままにするのではなく、なぜ、なぜと追求していきたいと思います。
- ・話し手、聞き手、評価役、それぞれ体験することで、ソーシャルワークに必要なことの一つである受容の難しさを感じました。また、援助者はしっかりした知識や技術が必要であることも学びました。事例検討では他者の意見や考えを聞くことにより、自分の知識や技術が磨かれることにつながり、ソーシャルネットワークの必要性を感じました。

●福祉行財政と福祉計画（◆福祉計画法）（佐藤 英仁先生）

- ・市役所勤務だが、行政の財政部分は苦手分野で知識も低かった。今回のスクーリングでは日ごろ自分が従事している仕事の財源がどのようになっているのか知ることができて、とてもよかった。
- ・理解が浅いのは自己努力がないからです。先生はとても分かりやすく熱意あふれる講義でした。資料もとてもすごいです。大切に勉強させていただきます。